

令和7年度秋田県特別支援学校就労促進フェア（県央地区）

12月16日（火）、秋田県立栗田支援学校を会場に「令和7年度秋田県特別支援学校就労促進フェア（県央地区）」が開催されました。作業学習で培った技能を競う「練成会」や、「夢の実現に向けて」をテーマにした就労を目指す生徒の実践発表、作業学習製品の展示・販売等が行われました。

実践発表では、高等部3年生が就労に向けて取り組んできた学習、今後の目標などを発表し、生徒一人一人の将来に向けた思いが伝わる発表となりました。

技能競技会「練成会」では、ワード・プロセッサ競技、ビルクリーニング競技、喫茶サービス競技の3種目の競技があり、本校からはビルクリーニング競技に2名、ワード・プロセッサ競技に2名が出場しました。ビルクリーニング競技では、高等部2年原田政樹さんが金賞、ワードプロセッサ競技では、高等部1年鈴木翔太さんが銀賞に入賞しました。惜しくも入賞できなかった生徒も、最後まで競技に臨み、練習の成果を十分に発揮しました。

作業学習製品販売会では、各作業班の生徒が参加し、製品のアピールポイントを事前にまとめ、製品の説明をしながら分かりやすく伝えました。積極的にお客さんとコミュニケーションをとり、お客さんによりよい製品を買ってもらいたいという気持ちが見られました。

就労促進フェアを通し、本校の取組を知ってもらえる機会となりました。また、他校の取組や頑張りを知る機会にもなりました。



<新規福祉サービス情報>

今年11月より、新規の福祉サービスが開始されました。詳しくは学校へお問い合わせください。

就労継続支援B型事業所「ルフラン」
由利本荘市石脇字石ノ花195-166
利用時間：9:00～15:00

休日休暇：土・日・祝・GW・お盆
年末年始

作業内容：「便利屋さんの作業」
（例）草刈り、お掃除、
買い物の付き添いなど
「音楽や創作の表現活動」
（例）楽器演奏、音響機材の操作
曲作り、地域での演奏会
など

社会福祉法人 本荘久寿会
「サポートベース ブルーミー」
（多機能型事業所）

由利本荘市石脇字尾花沢57-22
「生活介護」

利用時間：9:00～15:30

休日休暇：土・日

対象：身体障害（身体、視覚、聴覚）、難病
等（重心、医療的ケアは現在未対応）

定員：6名程度

高等部 1 年 II 期校内・現場実習

11 月 10 日（月）～21 日（金）の 10 日間の日程でⅡ期校内・現場実習を行いました。1 年生にとって 2 度目の実習です。6 月に行ったⅠ期校内実習では職業準備性ピラミッド（障害の有無にかかわらず、長く安定して働くために必要な 5 つの要素（健康管理、日常生活管理、対人技能、基本的労働習慣、職業適性）を段階的に示したモデル）の土台となる「生活リズムを整えることの大切さ」を学びについて、これまでの学校生活や作業学習で繰り返し学んできました。Ⅰ期実習から 5 か月が経ち、成長を感じた点がたくさんありました。

○作業の丁寧さ：秋田マテリアル株式会社様とフジタ製菓様、積進工業株式会社様から資材を提供いただき作業を行いました。依頼された仕事として、責任をもって取り組む姿勢が見られました。責任をもつことで「ここはもっと丁寧に」と意識し、より良い製品に仕上げようとすることができました。

○集中の持続：体力がついて、生活リズムを整えてきたことで、集中して作業できる時間が長くなりました。Ⅰ期では眠そうな様子で作業をする場面がありましたが、そうした姿は週の半ばになってもほとんど見られず、高い集中力を出来高表が示していました。

○言葉遣い・挨拶：当たり前のことと思われそうですが、疲れが出てくると気持ちの余裕がなくなり、課題として表れることがあります。報告・連絡・相談の際語尾までしっかり話すようになりました。挨拶も自分から元気づけられました。

「生活リズムを整えることの大切さ」を学び、実践することで上記の結果につながったと思います。睡眠・食事は働くための土台で、土台が揺らいでしまうと本来もっている力が発揮できなくなってしまいます。10 日間やり切った生徒の表情は生き生きと輝き、「来年は現場！」と意欲を燃やしていました。



高等部 2 年生 校内・現場実習

11 月 10 日（月）～21 日（金）の 10 日間、Ⅱ期校内・現場実習が行われました。

Ⅰ期の実習の経験や反省から、今回のⅡ期実習では、自分の目標を明確にし、実習に向かいました。働くために何が自分に必要かを考え、課題に挑戦する実習でもありました。

今回の実習では、Ⅰ期の実習と比べ、「長い時間作業できるようになった」「周りの人と積極的にコミュニケーションをとることができた」「自分から仕事を見付けて動けるようになった」など、実習の成果を実感できた生徒が多くいました。実習の経験を重ねることで、働くことへの意識や、やりがいが高まってきた生徒が増えてきました。

事後の振り返りでは、休まずに働き続けるためには、「体調管理」が大切だということにも気づき、「疲れをとるために早めに休む」「生活リズムを整える」など、日常生活での具体的な課題が見付けられました。今回の実習で学んだことを生かし、自分に必要なことは何かを考えながら日々の生活で取り組んでほしいと思います。



マックスバリュ



和



森林組合



くるみの里